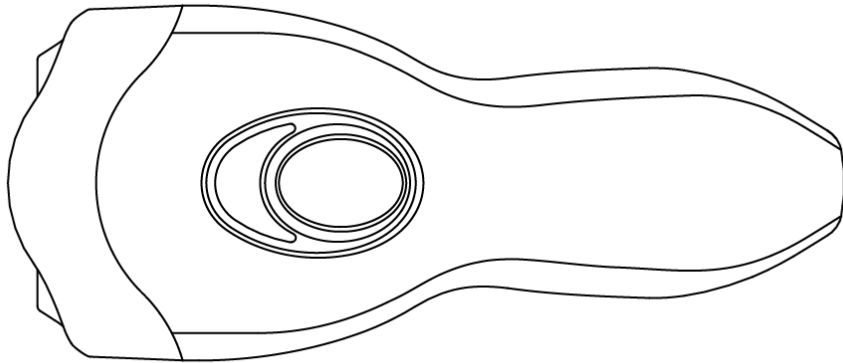


CITIZEN

SCN01-Z1D ハンディスキャナー

プログラミングマニュアル



シチズン・システムズ株式会社

目次

デフォルトパラメータ	1
スキャナー動作	1
インターフェース	1
シンボル	1
プログラミング手順	4
パラメータ設定	5
スキャナー動作	5
インターフェース設定	13
シンボル	16
データ編集	39
付録 1: USB VCOM ドライバー(Windows 用)のインストール	44
付録 2: バーコードのデータ長設定	45
付録 3: マルチバーコード編集	46
付録 4: ASCII Code 39 テーブル	48
付録 5: ヘッダーおよびトレーラー	53

商標

Windows は、米国 Microsoft Corporation(あるいは米国マイクロソフト・コーポレーション)の米国およびその他の国における登録商標です。
(Windows の正式名称は Microsoft Windows System です)

デフォルトパラメータ

以下は、設定可能なパラメータのデフォルト値の一覧です。デフォルト設定は、ハンデイスキャナーをプログラミングモードで「リセット」プログラミングラベルを読み取ると復元されます。設定を変更する場合は、以下の適切なバーコードを読み取ってください。

スキャナー動作

パラメータ	デフォルト
同一コード読み取り間隔	500msec
ビーブ音(トーン)	中
ビーブ音(鳴動時間)	50msec
ビーブ音/LED タイミング	転送前
スキャンモード	トリガーモード
ヘッダーおよびトレーラー	なし
読み取り間隔	0msec
送信間隔	0msec

インターフェース

パラメータ	デフォルト
USB VCOM インターフェース	
ターミネータ	<CR><LF>
HID USB インターフェース	
キーボード言語	US キーボード
ターミネータ	Enter

シンボル

パラメータ	デフォルト
デコーダー選択	
EAN/UPC	有効
Code 39	有効
Code 32	無効
Codabar	有効
ITF 2 of 5	有効
MSI	無効
Chinese Post Code	無効
Code 93	有効
Code 128	有効
EAN-128	無効
Telepen	無効
Code 11	無効
Standard 2 of 5	無効
Industrial 2 of 5	無効
Matrix 2 of 5	無効
GS1 DataBar	無効
コード識別子	
Factory 識別コード	無効
AIM ID 識別コード	無効
Code 39 識別コード	M

ITF 2 of 5 識別コード	I	
Chinese Post Code 識別コード	H	
UPC-A 識別コード	A	
UPC-E 識別コード	E	
EAN-13 識別コード	F	
EAN-8 識別コード	FF	
Codabar 識別コード	N	
Code 128 識別コード	K	
Code 93 識別コード	L	
MSI 識別コード	P	
Code 11 識別コード	O	
Standard 2 of 5 識別コード	S	
Industrial 2 of 5 識別コード	D	
Matrix 2 of 5 識別コード	G	
GS1 DataBar 識別コード	RS	
GS1 DataBar Limited 識別コード	RL	
GS1 DataBar Expanded 識別コード	RX	
バーコードの長さ		
Codabar	最大	32
Code 11	最小	6
Standard 2 of 5		
Industrial 2 of 5		
Matrix 2 of 5		
Code 39	最大	62
Code 93	最小	3
Code 128		
Chinese Post Code	最大	16
	最小	10
MSI	最大	32
ITF 2 of 5	最小	4
GS1 DataBar	最大	14
GS1 DataBar Limited	最小	14
GS1 DataBar Expanded	最大	48
	最小	6

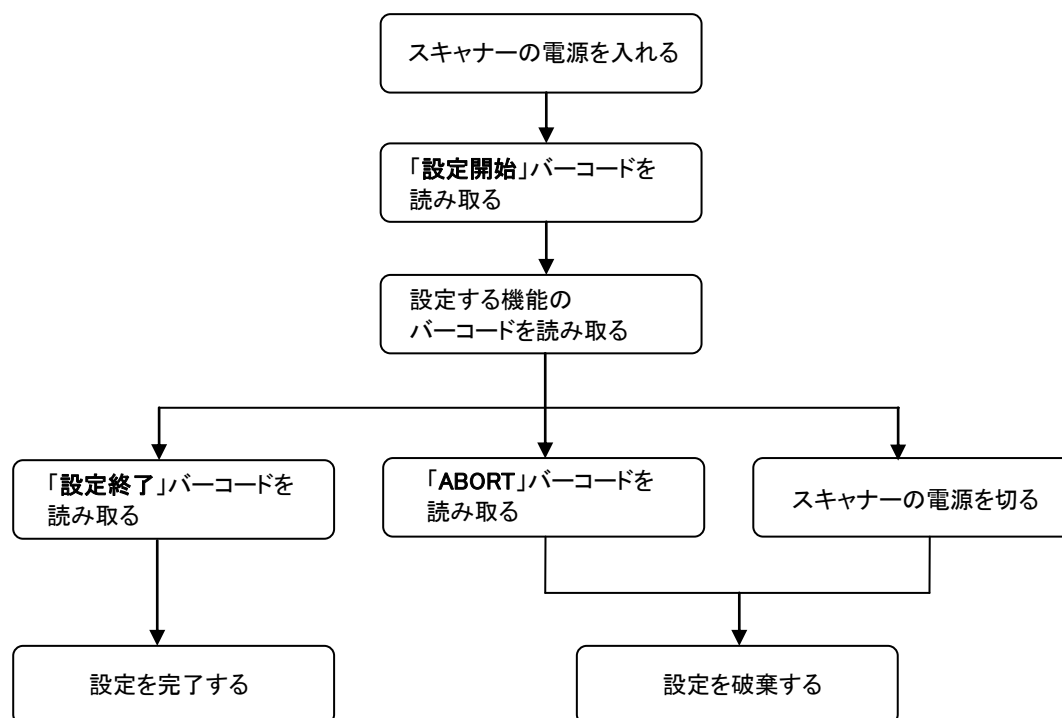
データフォーマット

コード	メッセージフォーマット
EAN-13	D1 D2 D3 D4 D5 D6 D7 D8 D9 D10 D11 D12 D13
EAN-8	D1 D2 D3 D4 D5 D6 D7 D8
UPC-A	D1 D2 D3 D4 D5 D6 D7 D8 D9 D10 D11 D12
UPC-E	D1 D2 D3 D4 D5 D6 D7 D8
Code 128	D1-Dx (デフォルト値: 3~62)
EAN-128	C1 D1-Dx (デフォルト値: 3~62)
Code 39	D1-Dx (デフォルト値: 3~62)
Codabar	D1-Dx (デフォルト値: 6~32)
ITF 2 of 5	D1-Dx (デフォルト値: 6~32)
Chinese Post Code	D1-Dx (デフォルト値: 8~32)
Code 93	D1-Dx (デフォルト値: 3~32)
MSI	D1-Dx (デフォルト値: 6~32)

プログラミング手順

以下は、本ガイドに記載されるバーコードを使用したプログラミング手順です。

1. スキャナーの電源を入れます。
2. **設定開始**バーコードを読み取ります。
3. 設定する機能のバーコードを読み取ります。**設定終了**バーコードを読み取る前に、複数の機能を有効化/無効化できます。
4. **設定終了**バーコードを読み取り、新しい設定を保存します。
5. 設定の変更を中止するには、**設定終了**バーコードを読み取る前にスキャナーの電源を切るか、**ABORT** バーコードを読み取ります。
6. バーコードの長さや識別コードなど、一部のパラメータ設定については、**SET** バーコードを読み取って設定を保存する必要があります。



デフォルト値は背景がグレーでハイライト表示されます。

パラメータ設定



設定開始

スキャナー動作

1. システム機能設定



バーコード値	バーコードラベル	説明
--		RESET:工場出荷時の設定に戻す
%/		ファームウェアバージョンを表示する
++		ABORT:更新せずにプログラミングモードを終了する
KE94		カスタム設定に戻す
KE95		カスタム設定として保存する



設定終了



2. インターフェース設定

バーコード値	バーコードラベル	説明
KE97		HID USB に設定する
KE87		USB VCOM に設定する (VCOMドライバーが必要です。インストール手順については、付録 1 を参照)





3. 一般スキャンモード設定

手動操作

バーコード値	バーコードラベル	説明
SM01		トリガーモード <ul style="list-style-type: none">トリガーボタンを押すたびにバーコードの読み取りを行います。
SM02		オートスキャンモード <ul style="list-style-type: none">読み取りエリアにバーコードが入ったら自動で読み取りを行います。
SM04		パルスモード <ul style="list-style-type: none">トリガーボタンを押すたびに、オートスキャンモード、読み取りオフが切り替わりま
SM05		リピートモード <ul style="list-style-type: none">オートスキャンモードの動作に加えて、トリガーボタンを押すたびにバーコードの読み取りを行います。
SM06		マニュアルモード <ul style="list-style-type: none">トリガーボタンを押している間、バーコードを読み取ります。





4. 動作機能設定

ビープ音(トーン)

バーコード値	バーコードラベル	説明
GR02		ビープ音(低)
GR01		ビープ音(中)
GR03		ビープ音(高)
GR05		ビープ音(無効)

ビープ音(鳴動時間)

バーコード値	バーコードラベル	説明
GR13		5msec
GR12		20msec
GR11		50msec
GR10		100msec
GR14		200msec
GR15		500msec





設定開始

ビープ音量

バーコード値	バーコードラベル	説明
GR20		大
GR21		中
GR22		小

ビープ音/LEDタイミング

バーコード値	バーコードラベル	説明
LB00		転送後 ・ バーコード読み取りに成功してホスト転送後に、ビープ音/LED を点灯します。
LB01		転送前 ・ バーコードデータをホストに転送する前に、ビープ音/LED を点灯します。
LB03		電源投入音(有効)
LB04		電源投入音(無効)



設定終了



読み取り間隔

バーコード値	バーコードラベル	説明
IM01		0ms
IM02		100ms
IM03		500ms
IM04		1000ms

送信間隔

バーコード値	バーコードラベル	説明
IC01		0ms
IC00		5ms
IC02		10ms
IC03		20ms
IC04		50ms
IC05		2ms





同一コード読み取り間隔

バーコード値	バーコードラベル	説明
SD01		50msec
SD02		100msec
SD03		200msec
SD04		300msec
SD05		400msec
SD06		500msec
SD07		600msec
SD08		700msec
SD09		800msec
SD10		900msec
SD11		1000msec
SD12		無制限





点滅モードへの切り替わり選択

(オートスキャンモードでのみ使用可能。バーコード値: SM02)

バーコード値	バーコードラベル	説明
LS00		点滅モードオフ (モジュールは点滅モードに入らない)
LS01		5s
LS02		10s
LS03		15s
LS04		20s
LS05		30s
LS06		60s

*点滅モード: 一定時間のあいだスキャナーで読み取りを行わないと、光源が自動的に点滅し始めます。読み取り窓に物体を近づけるだけでスキャナーの点滅は止まります。点滅モードには、電力消費を抑えてスキャナーの寿命を延ばす役割があります。上のバーコードを読み取り、スキャナーが待機状態の時に点滅モードに切り替わる時間を設定してください。





インターフェース設定

5. USB VCOM 設定

メッセージターミネータ

バーコード値	バーコードラベル	説明
DT11		メッセージターミネータ:なし
DT12		メッセージターミネータ:CR/LF
DT13		メッセージターミネータ:CR
DT14		メッセージターミネータ:LF
DT15		メッセージターミネータ:H-tab
DT16		メッセージターミネータ:STX/ETX
DT17		メッセージターミネータ:EOT





6. HID USB 設定

言語サポート

バーコード値	バーコードラベル	説明
KL00		インターナショナルキーボードモード(ALT モード)
KL01		キーボード言語サポート: 英語 (USA)
KL02		キーボード言語サポート: 英語 (UK)
KL03		キーボード言語サポート: ドイツ語
KL04		キーボード言語サポート: フランス語
KL05		キーボード言語サポート: スペイン語
KL06		キーボード言語サポート: イタリア語
KL07		キーボード言語サポート: スイス
KL08		キーボード言語サポート: スウェーデン語
KL09		キーボード言語サポート: ベルギー
KL10		キーボード言語サポート: ポルトガル語
KL11		キーボード言語サポート: トルコ語
KL15		キーボード言語サポート: 日本語





キーボード設定

バーコード値	バーコードラベル	説明
CP00		Caps Lock オン
CP01		Caps Lock オフ
CP05		ファンクションキーエミュレーター有効
CP06		ファンクションキーエミュレーター無効
CP18		数字を通常データとして送信する
CP19		数字をキーパッドデータとして送信する
CP20		キーボード入力通りのアルファベット
CP21		常に大文字のアルファベット
CP22		常に小文字のアルファベット

メッセージターミネータ

バーコード値	バーコードラベル	説明
DT01		キーボードターミネータ:なし
DT02		キーボードターミネータ:Enter
DT03		キーボードターミネータ:H-TAB





シンボル

7. Codabar(NW-7)パラメータ設定

バーコード 値	バーコードラベ ル	説明
RC02		Codabar 有効
RD02		Codabar 無効
CB05		Codabar スタート/ストップキャラクタ転送:なし
CB06		Codabar スタート/ストップキャラクタ転送:A,B,C,D
CB07		Codabar スタート/ストップキャラクタ転送:DC1~DC4
CB08		Codabar スタート/ストップキャラクタ転送:a/t,b/n,c/*,/d/e
CB09		Codabar 最大長設定
CB10		Codabar 最小長設定

SET



設定の保存(Full ASCII テーブルおよび長さ設定の読み取りに必要)

CB11



Codabar 連結無効

CB12



Codabar 連結有効





バーコード値	バーコードラベル	説明
CB13		チェックキャラクタなし
CB14		Mod16(計算あり/転送なし)
CB15		Mod16(計算および転送あり)
DC50		Codabar データ冗長検査=オフ
DC51		Codabar データ冗長検査=1
DC52		Codabar データ冗長検査=2
DC53		Codabar データ冗長検査=3





8. Code 39 パラメータ設定

バーコード値	バーコードラベル	説明
RC01		Code 39 有効
RD01		Code 39 無効
RC13		Code 32 有効
RD13		Code 32 無効
DC00		Code 39 データ冗長検査=オフ
DC01		Code 39 データ冗長検査=1
DC02		Code 39 データ冗長検査=2
DC03		Code 39 データ冗長検査=3
3901		Code 39 Standard
3902		Full ASCII Code39
3903		Code 39 スタート/ストップキャラクタ(転送あり)
3904		Code 39 スタート/ストップキャラクタ(転送なし)





バーコード値	バーコードラベル	説明
3905		Code 39 チェックデジット(計算および転送あり)
3906		Code 39 チェックデジット(計算あり/転送なし)
3907		チェックキャラクタなし
3908		Code 39 最大長
3909		Code 39 最小長

SET		設定の保存(FullASCII テーブルおよび長さ設定の読み取りに必要)
-----	--	--------------------------------------

3910		Code 39 連結有効
3911		Code 39 連結無効
3912		Code 32 (Italian pharmacy)(キャラクタ「A」の転送あり)
3913		Code 32 (Italian pharmacy)(キャラクタ「A」の転送なし)





9. Code 93 パラメータ設定

バーコード値	バーコードラベル	説明
RC08		Code 93 有効
RD08		Code 93 無効
DC30		Code 93 データ冗長検査=オフ
DC31		Code 93 データ冗長検査=1
DC32		Code 93 データ冗長検査=2
DC33		Code 93 データ冗長検査=3
9301		Code 93 最大長
9302		Code 93 最小長
SET		設定の保存 (Full ASCII テーブルおよび長さ設定の読み取りに必要)
9303		Code 93 チェックデジット (計算あり/転送なし)
9304		Code 93 チェックデジット (計算および転送なし)
9305		Code 93 チェックデジット (計算および転送あり)





設定開始

10. Code 128 パラメータ設定

バーコード値	バーコードラベル	説明
RC06		Code 128 有効
RD06		Code 128 無効
RC10		EAN-128 有効
RD10		EAN-128 無効
DC40		Code 128 データ冗長検査=オフ
DC41		Code 128 データ冗長検査=1
DC42		Code 128 データ冗長検査=2
DC43		Code 128 データ冗長検査=3
1801		Code128 FNC2 連結有効
1802		Code128 FNC2 連結無効
1803		チェックキャラクタなし
1804		計算あり/転送なし
1805		計算および転送あり
1806		Code 128 最大長
1807		Code 128 最小長
SET		設定の保存 (Full ASCII テーブルおよび長さ設定の読み取りに必要)



設定終了



11. Chinese Post Code パラメータ設定

バーコード値	バーコードラベル	説明
RC05		Chinese Post Code 有効
RD05		Chinese Post Code 無効
DC60		Chinese Post Code データ冗長検査=オフ
DC61		Chinese Post Code データ冗長検査=1
DC62		Chinese Post Code データ冗長検査=2
DC63		Chinese Post Code データ冗長検査=3
SZ01		Chinese Post Code 最大長
SZ02		Chinese Post Code 最小長

SET



設定の保存 (Full ASCII テーブルおよび長さ設定の読み取りに必要)





設定開始

12. MSI/Plessy パラメータ設定

バーコード値	バーコードラベル	説明
RC14		MSI 有効
RD14		MSI 無効
DC70		MSI データ冗長検査=オフ
DC71		MSI データ冗長検査=1
DC72		MSI データ冗長検査=2
DC73		MSI データ冗長検査=3
MS01		MSI/Plessy 最大長
MS02		MSI/Plessy 最小長
SET		設定の保存 (Full ASCII テーブルおよび長さ設定の読み取りに必要)
MS03		MSI/Plessy ダブルチェックデジット (計算あり/転送なし)
MS04		MSI/Plessy ダブルチェックデジット (計算および転送なし)
MS05		MSI/Plessy ダブルチェックデジット (計算あり/第 1 デジットのみ転送)
MS06		MSI/Plessy ダブルチェックデジット (計算および転送あり)
MS07		MSI/Plessy シングルチェックデジット (計算あり/転送なし)
MS08		MSI/Plessy シングルチェックデジット (計算および転送あり)



設定終了



設定開始

13. Code 11 インターフェース設定

バーコード値	バーコードラベル	説明
RC07		Code 11 有効
RD07		Code 11 無効
1101		Code 11 最大長
1102		Code 11 最小長

SET		設定の保存 (Full ASCII テーブルおよび長さ設定の読み取りに必要)
-----	--	--

1103		Code 11 シングルチェックデジット検証
1104		Code 11 ダブルチェックデジット検証
1105		コード長が 10 文字を超える場合に Code 11 チェックデジットをダブルチェック
1106		検証を無効にする
1107		Code 11 チェックデジット (転送あり)
1108		Code 11 チェックデジット (転送なし)



設定終了



14. ITF 2 of 5 パラメータ設定

バーコード値	バーコードラベル	説明
RC04		ITF 2 of 5 有効
RD04		ITF 2 of 5 無効
RC09		IATA コード有効
RD09		IATA 無効
DC80		ITF 2 of 5 データ冗長検査=オフ
DC81		ITF2 of 5 データ冗長検査=1
DC82		ITF2 of 5 データ冗長検査=2
DC83		ITF2 of 5 データ冗長検査=3
IT03		ITF 2 of 5 チェックキャラクタなし
IT04		ITF 2 of 5 チェックデジット(計算および転送あり)
IT05		ITF 2 of 5 チェックデジット(計算あり/転送なし)





設定開始

バーコード値	バーコードラベル	説明
IT01		ITF 2 of 5 コード最大長
IT02		ITF 2 of 5 コード最小長
IT06		ITF 2 of 5 シングル固定長
IT07		ITF 2 of 5 ダブル固定長

SET		設定の保存 (Full ASCII テーブルおよび長さ設定の読み取りに必要)
-----	--	--

IT08		ITF 2 of 5 可変長
------	--	----------------



設定終了



設定開始

15. Standard 2 of 5 パラメータ設定

バーコード値	バーコードラベル	説明
RC22		Standard 2 of 5 コード有効
RD22		Standard 2 of 5 コード無効
D051		Standard 2 of 5 コード最大長
D052		Standard 2 of 5 コード最小長

SET		設定の保存 (Full ASCII テーブルおよび長さ設定の読み取りに必要)
-----	--	--

D053		Standard 2 of 5 コードチェックキャラクタなし
D054		Standard 2 of 5 コードチェックデジット (計算および転送あり)
D055		Standard 2 of 5 コードチェックデジット (計算あり/転送なし)



設定終了



設定開始

16. Industrial 2 of 5 パラメータ設定

バーコード値	バーコードラベル	説明
RC21		Industrial 2 of 5 コード有効
RD21		Industrial 2 of 5 コード無効
D251		Industrial 2 of 5 コード最大長
D252		Industrial 2 of 5 コード最小長
SET		設定の保存 (Full ASCII テーブルおよび長さ設定の読み取りに必要)
D253		Industrial 2 of 5 コードチェックキャラクタなし
D254		Industrial 2 of 5 コードチェックデジット (計算および転送あり)
D255		Industrial 2 of 5 コードチェックデジット (計算あり/転送なし)



設定終了



17. UPC/EAN/JAN パラメータ設定

バーコード値	バーコードラベル	説明
RC11		EAN から ISSN/ISBN への変換有効
RD11		EAN から ISSN/ISBN への変換無効
RC03		UPC/EAN/JAN 有効
RD03		UPC/EAN/JAN 無効
UE01		UPC/EAN/JAN すべて有効
UE02		EAN-8 または EAN-13 有効
UE03		UPC-A および EAN-13 有効
UE04		UPC-A および UPC-E 有効
UE05		UPC-A 有効
UE06		UPC-E 有効
UE07		EAN-13 有効
UE08		EAN-8 有効
UE09		UPC/EAN Addendum 無効





バーコード値	バーコードラベル	説明
UE10		アドオン 5 桁のみ
UE11		アドオン 2 桁のみ
UE12		アドオン 2 桁または 5 桁
UE13		UPC-E から UPC-A フォーマットへの変換強制有効
UE14		UPC-E から UPC-A フォーマットへの変換強制無効
UE15		UPC-A から EAN-13 フォーマットへの変換強制有効
UE16		UPC-A から EAN-13 フォーマットへの変換強制無効
UE44		EAN-8 から EAN-13 フォーマットへの変換強制有効
UE45		EAN-8 から EAN-13 フォーマットへの変換強制無効
UE17		UPC-A チェックデジット転送有効
UE18		UPC-A チェックデジット転送無効
UE19		UPC-E 先頭キャラクタ転送有効
UE20		UPC-E 先頭キャラクタ転送無効
UE21		UPC-E チェックデジット転送有効
UE22		UPC-E チェックデジット転送無効





バーコード値	バーコードラベル	説明
UE23		EAN-8 チェックデジット転送有効
UE24		EAN-8 チェックデジット転送無効
UE25		EAN-13 チェックデジット転送有効
UE26		EAN-13 チェックデジット転送無効
UE27		UPC-A 先頭キャラクタ転送有効
UE28		UPC-A 先頭キャラクタ転送無効
UE30		アドオンフォーマット(セパレータあり)
UE31		アドオンフォーマット(セパレータなし)
UE60		EAN-13 国コードの最初の「0」を転送可能
UE61		EAN-13 国コードの最初の「0」を転送不可
UE66		EAN-13(最初の 0 ID コードが「UPC-A」と同じ)
UE67		EAN-13(最初の 0 ID コードが「EAN-13」と同じ)
DC10		UPC-A データ冗長検査=オフ
DC11		UPC-A データ冗長検査=1





バーコード値	バーコードラベル	説明
DC12		UPC-A データ冗長検査=2
DC13		UPC-A データ冗長検査=3
DC14		UPC-E データ冗長検査=オフ
DC15		UPC-E データ冗長検査=1
DC16		UPC-E データ冗長検査=2
DC17		UPC-E データ冗長検査=3
DC20		EAN-13 データ冗長検査=オフ
DC21		EAN-13 データ冗長検査=1
DC22		EAN-13 データ冗長検査=2
DC23		EAN-13 データ冗長検査=3
DC24		EAN-8 データ冗長検査=オフ
DC25		EAN-8 データ冗長検査=1
DC26		EAN-8 データ冗長検査=2
DC27		EAN-8 データ冗長検査=3
UE32		EAN/UPC +アドオン(必須ではない)
UE33		EAN/UPC +アドオン(必須)





設定開始

UE35		EAN/UPC の先頭が 978/977 の場合、アドオンコードが必須となります。 先頭が 978/977 以外のバーコードの読み込みを行いません。
UE38		EAN/UPC の先頭が 978/977 の場合、アドオンコードが必須となります。 先頭が 978/977 以外のバーコードの読み込みを行います。
UE42		EAN/UPC の先頭が 491 の場合、アドオンコードが必須となります。 先頭が 491 以外のバーコードの読み込みを行いません。
UE43		EAN/UPC の先頭が 491 の場合、アドオンコードが必須となります。 先頭が 491 以外のバーコードの読み込みを行います。



設定終了



18. Telepen パラメータ設定

バーコード値	バーコードラベル	説明
RC25		Telepen 有効
RD25		Telepen 無効
TE03		Telepen 数値モード有効
TE04		AIM Telepen 有効





設定開始

19. Matrix 2 of 5 パラメータ設定

バーコード値	バーコードラベル	説明
RC12		Matrix 2 of 5 有効
RD12		Matrix 2 of 5 無効
D151		Matrix 2 of 5 最大長
D152		Matrix 2 of 5 最小長

SET



設定の保存 (Full ASCII テーブルおよび長さ設定の読み取りに必要)

D153



Matrix 2 of 5 チェックキャラクタなし

D154



Matrix 2 of 5 チェックデジット (計算および転送あり)

D155



Matrix 2 of 5 チェックデジット (計算あり/転送なし)



設定終了

**20. GS1 DataBar パラメータ設定**

GS1 DataBar ファミリには 7 種類のバーコードがあり、3 つのグループに分類されます。同じグループに属するバーコードタイプは設定にも同じバーコードを使用します。

グループ	名称	内容
グループ 1	GS1 DataBar Omnidirectional (旧称 RSS-14)	GS1 DataBar Omnidirectional GS1 DataBar Truncated GS1 DataBar Stacked GS1 DataBar Stacked Omnidirectional
グループ 2	GS1 DataBar Limited (旧称 RSS Limited)	GS1 DataBar Limited
グループ 3	GS1 DataBar Expanded (旧称 RSS Expanded)	GS1 DataBar Expanded GS1 DataBar Expanded Stacked

GS1 DataBar Omnidirectional (旧称RSS-14)

バーコード値	バーコードラベル	説明
RC15		GS1 DataBar Omnidirectional 有効
RD15		GS1 DataBar Omnidirectional 無効
SS00		GS1 DataBar Omnidirectional チェックデジット転送あり
SS01		GS1 DataBar Omnidirectional チェックデジット転送なし
SS02		GS1 DataBar Omnidirectional アプリケーション ID(01)転送あり
SS03		GS1 DataBar Omnidirectional アプリケーション ID(01)転送なし
SS05		GS1 DataBar Omnidirectional/EAN-128 エミュレーション有効
SS04		GS1 DataBar Omnidirectional/EAN-128 エミュレーション無効





GS1 DataBar Limited(旧称 RSS Limited)

バーコード値	バーコードラベル	説明
RC16		GS1 DataBar Limited 有効
RD16		GS1 DataBar Limited 無効
SS10		GS1 DataBar Limited チェックデジット転送あり
SS11		GS1 DataBar Limited チェックデジット転送なし
SS12		GS1 DataBar Limited アプリケーション ID(01)転送あり
SS13		GS1 DataBar Limited アプリケーション ID 転送なし





GS1 DataBar Expanded(旧称 RSS Expanded)

バーコード値	バーコードラベル	説明
RC17		GS1 DataBar Expanded 有効
RD17		GS1 DataBar Expanded 無効
SS07		GS1 DataBar Expanded/EAN-128 エミュレーション有効
SS06		GS1 DataBar Expanded/EAN-128 エミュレーション無効
SS08		GS1 DataBar Expanded チェックデジット有効
SS09		GS1 DataBar Expanded チェックデジット無効
SS16		GS1 DataBar Expanded アプリケーション ID(01) 転送あり
SS17		GS1 DataBar Expanded アプリケーション ID 転送なし





データ編集

21. 識別コード

バーコード値	バーコードラベル	説明
IS00		識別コードを無効にする
IS01		Factory 識別コードテーブルを有効にする
IS03		AIM ID 識別コードテーブルを有効にする
CI01		Code 39 識別コード設定
CI02		ITF 2 of 5 識別コード設定
CI03		Chinese Post Code 識別コード設定
CI04		UPC-E 識別コード設定
CI05		UPC-A 識別コード設定
CI06		EAN-13 識別コード設定
CI07		EAN-8 識別コード設定

SET



設定の保存 (Full ASCII テーブルおよび長さ設定の読み取りに必要)





バーコード値	バーコードラベル	説明
CI08		Codabar 識別コード設定
CI09		Code 128 識別コード設定
CI10		Code 93 識別コード設定
CI11		MSI 識別コード設定
CI12		GS1 DataBar Omnidirectional 識別コード設定
CI13		GS1 DataBar Limited 識別コード設定
CI14		GS1 DataBar Expanded 識別コード設定
CI15		Industrial 2 of 5 識別コード設定
CI16		Code 11 識別コード設定
CI17		Standard 2 of 5 識別コード設定
CI18		Matrix 2 of 5 識別コード設定

SET



設定の保存 (Full ASCII テーブルおよび長さ設定の読み取りに必要)





22. ヘッダーおよびトレーラー

バーコード値	バーコードラベル	説明
CP11		コード長をヘッダーとして追加を有効化(2桁)
CP12		コード長をヘッダーとして追加を無効化(2桁)
HT01		ヘッダーを追加
HT02		トレーラーを追加
HT03		ヘッダー文字を切り捨て(先頭から削除する文字数を指定)
HT04		トレーラー文字を切り捨て(終端から削除する文字数を指定)

SET



設定の保存(Full ASCII テーブルおよび長さ設定の読み取りに必要)

注:フルASCII設定を保存するには「SET」を使用する必要があります。ファンクションキーがプログラミングされている場合、設定が適切に機能するためには、「(CP05)ファンクションキーエミュレーター有効」も読み取る必要があります。詳細は、「[付録5:ヘッダーおよびトレーラー](#)」を参照してください。



**23. マルチバーコード編集**

詳細なセットアップ手順については、付録3を参照してください。

機能設定

バーコード値	バーコードラベル	説明
MC00		マルチバーコードの編集を開始する
MC01		マルチバーコード有効
MC02		マルチバーコード無効
MC03		出力シーケンスを適用する <ul style="list-style-type: none"> このモードでは、スキャナーがすべての条件付きバーコードを読み取ってデータを一括転送するまで、バーコードデータはスキャナーに保存されます。スキャナーがプログラムされたフォーマットに適合しないバーコードを読み取ると、通常のバーコードと解釈してそのデータを転送します。
MC04		出力シーケンスを強制する <ul style="list-style-type: none"> このモードでは、すべてのバーコードがプログラムされたフォーマットに従う必要があります。従わない場合、データは転送されません。
MC05		ターミネータを有効にする
MC06		ターミネータを無効にする
SET		設定の保存 (Full ASCII テーブルおよび長さ設定の読み取りに必要)





バーコードタイプ設定

バーコード値	バーコードラベル	説明
\$Q		Code39
\$A		Codabar
\$B		ITF2 of 5
\$C		Code128
\$F		Code 93
\$G		MSI
\$E		Chinese Post Code
4		EAN-8
D		EAN-13
/D		UPC-A
\$T		UPC-E
\$U		GS1 DataBar Standard
\$V		GS1 DataBar Expanded
\$W		GS1 DataBar Limited



設定終了

付録 1: USB VCOM ドライバー(Windows 用)のインストール

ドライバーをダウンロードし、以下の手順に従って USB VCOM ポートを有効にしてください。

1. ハンディスキャナーとホスト(PC など)を USB インターフェースケーブルで接続します。
2. 8 ページのプログラミングバーコードを読み取り、USB VCOM ポートに設定します。
3. プログラミング後、ホストからドライバーのインストールが要求されます。ファイルを参照してインストールを開始します。
4. ドライバーのインストール後、USB VCOM ポートは使用できるようになります。

付録 2: バーコードのデータ長設定

概要

バーコードのデータ長は、バーコードに含まれるキャラクタ(チェックデジットを含む)の数です。「デフォルトパラメータ」セクションの一覧で説明したように、バーコードの種類ごとにそれぞれデフォルトの長さがあります。設定を変更するには、以下の手順を実行します。

バーコードのデータ長を設定する場合、判定されるパラメータはバーコードタイプとバーコードのデータ長です。バーコードのデータ長は 2 つのデジットから構成されます。10 より小さい数字の場合、前に「0」を追加する必要があります。

例

バーコードのデータ長が 4~12 桁の場合の手順は以下のとおりです。



設定開始	最小バーコード長を設定	最大バーコード長を設定	設定終了
「設定開始」バーコードを読み取る	「最小」バーコードを読み取る	「最大」バーコードを設定する	「SET」バーコードを読み取ってこの設定を保存する
↓	↓	↓	↓
「フル ASCII コード 39」バーコードを読み取る	第 1 デジット「0」を読み取る	第 1 デジット「1」を設定する	「設定終了」バーコードを読み取る
↓	↓	↓	
設定するバーコードタイプのページを開く	第 2 デジット「4」を読み取る	第 2 デジット「2」を設定する	



ASCIIテーブル(付録4)を使用してバーコードのデータ長を設定してください。「SET」ラベルを読み取って任意のデータをメモリに設定する前に、Full ASCII Code39オプションを必ず有効にしてください。

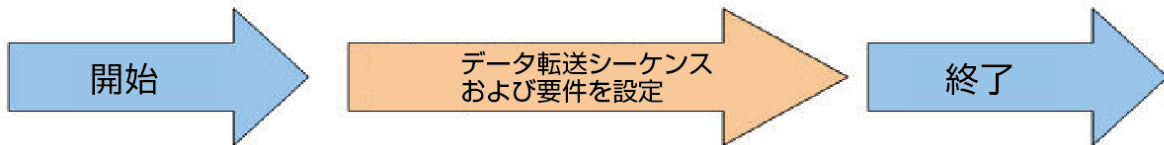
付録 3: マルチバーコード編集

概要

マルチバーコード編集機能を使用すると、バーコードデータ転送シーケンスを設定できます。設定後、ユーザーが正しい順序でバーコードを読み取らない場合でも、スキャナーは事前にプログラムされたシーケンスでデータを転送します。最大 5 個のバーコードデータのシーケンスを設定できます。

バーコードタイプ、バーコードの長さ、チェックデジットの 3 つのパラメータをプログラミングできます。

バーコードのデータ長が不要な場合は「0」を設定し、バーコード値の第 1 デジットを検査する必要がない場合は「NUL」を設定します。



設定開始	第 1 バーコード シンボルを設定	第 2 バーコード シンボルを設定	設定終了
「設定開始」バーコード を読み取る	バーコードタイプを 設定する	バーコードタイプを 設定する	「設定終了」バーコード を読み取る
↓	↓	↓	
「マルチバーコード編集」 バーコードを読み取る	バーコードの長さを 設定する	バーコードの長さを 設定する	
	↓	↓	
	第 1 デジットを チェックする	第 1 デジットを チェックする	

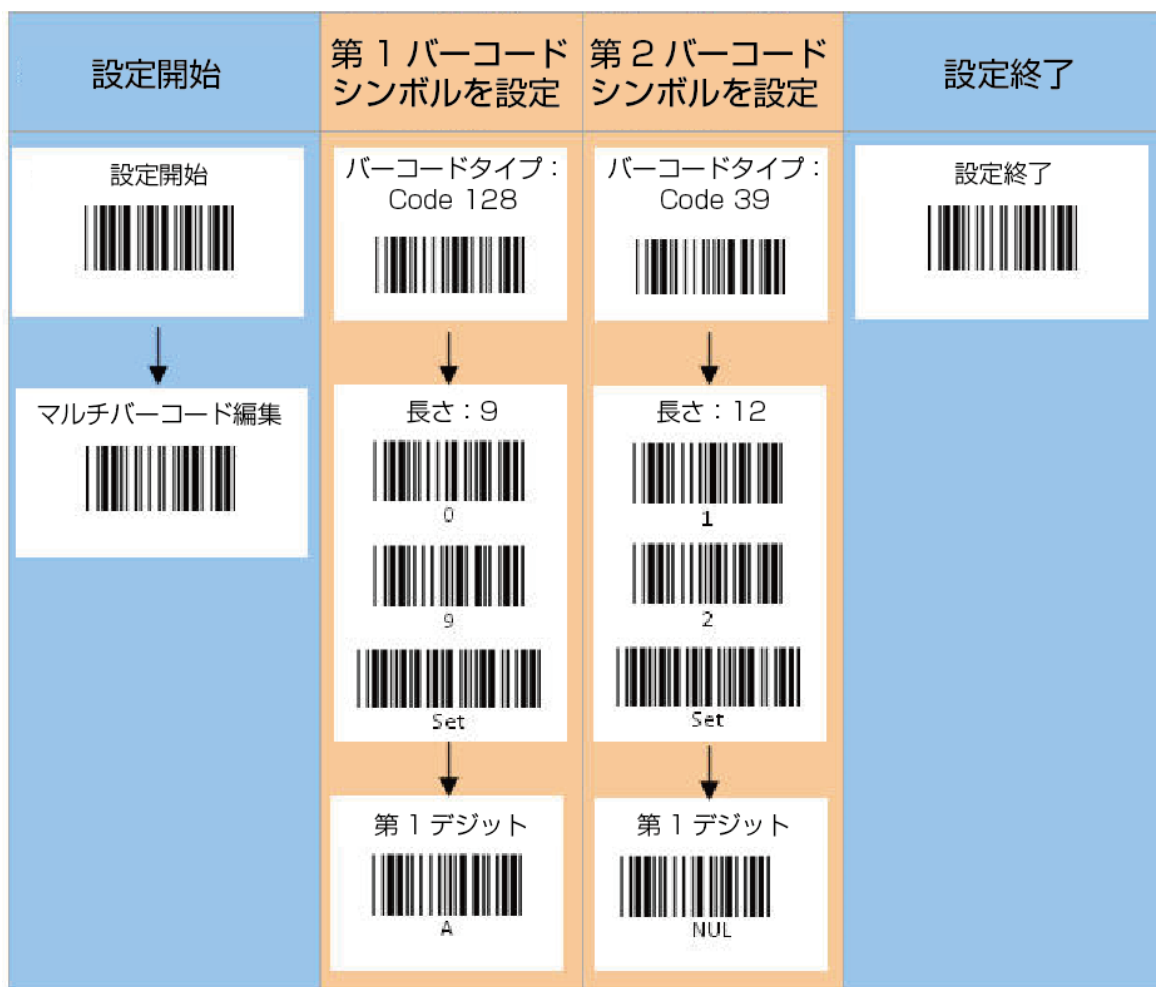
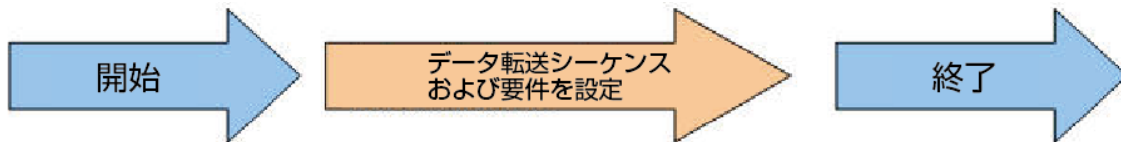


ASCIIテーブル(付録4)を使用してバーコードの長さや第1デジットチェックを設定してください。「SET」ラベルを読み取って任意のデータをメモリに設定する前に、Full ASCII Code39オプションを必ず有効にしてください。

例

バーコードデータ転送シーケンスおよび要件が以下の場合：

第1バーコードシンボル		第2バーコードシンボル	
バーコードタイプ	Code 128	バーコードタイプ	Code 39
バーコードの長さ	9	バーコードの長さ	12
第1 デジット	A	第1 デジット	第1 デジットのチェックが不要





付録 4:ASCII Code 39 テーブル

Code 39	ASCII	16進数 コード	Code 39	ASCII	16進数 コード
	Full ASCII ---NUL	00		Full ASCII ---SI	0F
	Full ASCII ---SOH	01		Function key -----“Shift”	10
	Function key -----“Ins”			Full ASCII ---DLE	
	Full ASCII ---STX	02		Function key -----“5(数字)”	11
	Function key -----“Del”			Full ASCII ---DC1	
	Full ASCII ---ETX	03		Function key -----“F1”	12
	Function key -----“Home”			Full ASCII ---DC2	
	Full ASCII ---EOT	04		Function key -----“F2”	13
	Function key -----“End”			Full ASCII ---DC3	
	Full ASCII ---ENQ	05		Function key -----“F3”	14
	Function key -----“上矢印”			Full ASCII ---DC4	
	Full ASCII ---ACK	06		Function key -----“F4”	15
	Function key -----“下矢印”			Full ASCII ---NAK	
	Full ASCII ---BEL	07		Function key -----“F5”	16
	Function key -----“左矢印”			Full ASCII ---SYN	
	Full ASCII ---BS	08		Function key -----“F6”	17
	Function key -----“Backspace”			Full ASCII ---ETB	
	Full ASCII ---HT	09		Function key -----“F7”	18
	Function key -----“TAB”			Full ASCII ---CAN	
	Full ASCII ---LF	0A		Function key -----“F8”	19
	Function key --“Enter(英数字)”			Full ASCII ---EN	
	Full ASCII ---VT	0B		Function key -----“F9”	1A
	Function key -----“右矢印”			Full ASCII ---SUB	
	Full ASCII ---FF	0C		Function key -----“F10”	1B
	Function key -----“PgUp”			Full ASCII ---ESC	
	Full ASCII ---CR	0D		Function key -----“F11”	1C
	Function key -----“Enetr(数字)”			Full ASCII ---FS	
	Full ASCII ---SO	0E		Function key -----“F12”	1C
	Function key -----“PgDn”			Full ASCII ---GS	
				Function key -----“ESC”	1D





設定開始

ASCII Code 39 テーブル

Code 39	ASCII	16進数 コード	Code 39	ASCII	16進数 コード
	Full ASCII ---RS Function key -----“CTL(L)”	1E		Full ASCII ----	2D
	Full ASCII ---US Function key -----“ALT(L)”	1F		Full ASCII ---.	2E
	Full ASCII ---SP	20		Full ASCII ---/	2F
	Full ASCII ---!	21		Full ASCII ---0	30
	Full ASCII ---“	22		Full ASCII ---1	31
	Full ASCII ---#	23		Full ASCII ---2	32
	Full ASCII ---\$	24		Full ASCII ---3	33
	Full ASCII ---%	25		Full ASCII ---4	34
	Full ASCII ---&	26		Full ASCII ---5	35
	Full ASCII ---‘	27		Full ASCII ---6	36
	Full ASCII --- (28		Full ASCII ---7	37
	Full ASCII ---)	29		Full ASCII ---8	38
	Full ASCII ---*	2A		Full ASCII ---9	39
	Full ASCII ---+	2B		Full ASCII ---:	3A
	Full ASCII ---,	2C		Full ASCII ---;	3B



設定終了



ASCII Code 39 テーブル

Code 39	ASCII	16進数 コード	Code 39	ASCII	16進数 コード
	Full ASCII ---<	3C		Full ASCII --->	3E
	Full ASCII ----=	3D		Full ASCII ---?	3F
	Full ASCII ---@	40		Full ASCII ---A	41
	Full ASCII ---B	42		Full ASCII ---C	43
	Full ASCII ---D	44		Full ASCII ---E	45
	Full ASCII ---F	46		Full ASCII ---G	47
	Full ASCII ---H	48		Full ASCII ---I	49
	Full ASCII ---J	4A		Full ASCII ---K	4B
				Full ASCII ---L	4C
				Full ASCII ---M	4D
				Full ASCII ---N	4E
				Full ASCII ---O	4F
				Full ASCII ---P	50
				Full ASCII ---Q	51
				Full ASCII ---R	52
				Full ASCII ---S	53
				Full ASCII ---T	54
				Full ASCII ---U	55
				Full ASCII ---V	56
				Full ASCII ---W	57
				Full ASCII ---X	58
				Full ASCII ---Y	59





ASCII Code 39 テーブル

Code 39	ASCII	16進数 コード	Code 39	ASCII	16進数 コード
	Full ASCII ---Z	5A		Full ASCII ---i	69
	Full ASCII ---[5B		Full ASCII ---j	6A
	Full ASCII ---¥	5C		Full ASCII ---k	6B
	Full ASCII ---]	5D		Full ASCII ---l	6C
	Full ASCII ---^	5E		Full ASCII ---m	6D
	Full ASCII ---_	5F		Full ASCII ---n	6E
	Full ASCII ---`	60		Full ASCII ---o	6F
	Full ASCII ---a	61		Full ASCII ---p	70
	Full ASCII ---b	62		Full ASCII ---q	71
	Full ASCII ---c	63		Full ASCII ---r	72
	Full ASCII ---d	64		Full ASCII ---s	73
	Full ASCII ---e	65		Full ASCII ---t	74
	Full ASCII ---f	66		Full ASCII ---u	75
	Full ASCII ---g	67		Full ASCII ---v	76
	Full ASCII ---h	68		Full ASCII ---w	77





ASCII Code 39 テーブル

Code 39	ASCII	16進数コード
	Full ASCII ---x	78
	Full ASCII ---y	79
	Full ASCII ---z	7A
	Full ASCII ---{	7B
	Full ASCII ---	7C
	Full ASCII ---}	7D
	Full ASCII ---~	7E
	Full ASCII ---DEL	7F



付録 5: ヘッダーおよびトレーラー

概要

読み取ったバーコードデータにヘッダーおよびトレーラーを付加することができます。ヘッダーおよびトレーラーの合計が 10 桁を超えないかぎり、ヘッダー/トレーラーキャラクタの選択に制限はありません。

1. 「設定開始」を読み取ります。
2. ヘッダー/トレーラー設定用ラベルを読み取ります。
3. ASCII テーブルから希望するキャラクタを読み取り、ヘッダーまたはトレーラーを設定します（開始する前に Full ASCII Code 39 オプションを必ず有効にしてください）。
4. 「設定の保存 (Full ASCII テーブルおよび長さ設定の読み取りに必要)」を読み取り、設定内容をメモリに保存します。
5. ファンクションキーがプログラムされている場合、「(CP05) ファンクションキーエミュレーター有効」を読み取ります。
6. 「設定終了」を読み取ります。

例

プレフィックスとして「TAB」および「@」を設定する必要がある場合、以下の手順に従ってください。

1. 「設定開始」を読み取ります。
2. 「(HT01) ヘッダー (プリアンブル)」を読み取ります。
3. 「Full ASCII --- HT ファンクションキー -----TAB」を読み取ります。
4. 「Full ASCII ---@」を読み取ります。
5. 「設定の保存 (Full ASCII テーブルおよび長さ設定の読み取りに必要)」を読み取り、この設定を保存します。
6. 「(CP05) ファンクションキーエミュレーター有効」を読み取ります。
7. 「設定終了」を読み取ります。

シチズン・システムズ株式会社

〒188-8511 東京都西東京市田無町6-1-12
TEL. (042) 468-4993 FAX. (042) 468-4687
<http://www.citizen-systems.co.jp>

SCN01-Z1D_PM_100JA
February 2018
PMC-1802